

当協会のブラジル公演が当地の新聞に紹介されました

文教大講堂が満員御礼！

大迫力の熱演に喝采響く

「まさに日本の宝」と観客

主催特定非営利活動法人 和文化交流普及協会（小川夏葉理事長）企画・構成、プロ和太鼓グループの鬼太鼓座の代表・松田惺山の演出による「日本の宴」聖市公演が7日に行われた。日伯友好120周年記念行事の一環として開催され、雨天にもかかわらず文教大講堂の二階席まで埋め尽くした1200人以上の観客は、迫力の演奏を堪能した。

第一部「武人の魂」

煙が漂うステージ上に鬼太鼓座メンバーと和太鼓がスポットライトで浮かび上がり、力強く正確な太鼓の音に会場は静まり返り、演奏終了とともに喝采が沸き起つった。

第二部「日本の楽器」

みやざきみえこさんが琴を軽やかに奏でた。けん玉を使ったショーでは、小刻みに叩かれる太鼓と同じリズムで球を移動させ続けるという超人技が演じられた。花柳琢次郎さんによる迫真の獅子舞も披露され、目くるめく展開に観客の目は演技に釘付けだった。

第三部「鼓神の響き」

尺八の音色とともに筋骨隆々の男性が巨大な太鼓を力強く叩いた。鍛えられた肉体に真っ白な襷一丁のみ。和太鼓をねじ伏せるように力こぶが躍動し、体を揺らすような轟音が会場を埋め尽くした。演奏が終わると観客は立ち上がり、割れんばかりの拍手となり、アンコールを求める声が場内に鳴り響いた。

